

路線バス等の運行状況改善に向けた位置情報履歴 データ解析に関する研究

川谷, 卓哉

<https://hdl.handle.net/2324/6787633>

出版情報 : 九州大学, 2022, 博士 (情報科学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	川谷 卓哉
論 文 名	路線バス等の運行状況改善に向けた位置情報履歴データ解析に関する研究
論文調査委員	主 査 九州大学 教授 荒川 豊 副 査 九州大学 教授 川崎 洋 副 査 九州大学 准教授 峯 恒憲

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、地方路線の公共交通、特に中小のバス事業者が運行する路線バスの運行状況把握と改善を目指し、路線バスに ETC2.0 車載器を搭載して走行データを長期間収集し、バス停間およびバスルートの走行時間を推定するモデルの提案、データ収集機会と解析結果の改善を実現するための路側器設置問題の提案、安全運行に強く関連する交通事故防止の観点からの急ブレーキ事象推定モデルの提案を行い、実験により、提案モデル等の有効性を確認したものであり、情報知能工学について重要な知見を得たものとして価値ある業績である。よって、本論文は博士（情報科学）の学位論文に値するものと認める。